

富山大学薬学部 学生後援会

平成29年度（第20回）総会 報告書

平成29年4月6日（木）午後1時30分より
富山大学杉谷キャンパス看護学研究棟1階10番講義室

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 平成28年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 平成28年度会計報告 (p. 10)
監査報告 (p. 13)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
 - 5-4. 平成29年度事業予定（案）審議 (p. 15)
 - 5-5. 平成29年度予算（案）審議 (p. 18)
6. その他
 - 6-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 21)
 - 6-2. 学生の保証人（親権者等）への成績通知について (p. 22)
7. 閉会

総会終了後，御質問・御要望などに関して自由討論

はじめに、坂井明広会長から挨拶があった。その後、細谷薬学部長より薬学部の現状（学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況など）に関する説明があった。続いて、坂井会長が議長となり、総会が進行された。

5. 議事

5-1. 平成 28 年度事業報告

5-1-1. 平成 28 年度(第 19 回)総会

平成 28 年 4 月 7 日（木）、入学式終了後午後 1 時 30 分より平成 28 年度総会を看護学研究棟 1 階 10 番講義室において、会員・新会員（新入学生保護者）の他薬学部教員も多数出席して行われました。会長定村孝様（代読定村富子様）によるご挨拶を頂戴し、その後細谷薬学部長より薬学部の現状（薬剤師国家試験や就職状況など）に関するお話がありました。

その後、定村会長の代理として廣瀬学内理事が議長に選出され審議に入り、平成 27 年度の事業と決算が報告され承認されました。

続いて 28 年度の正会員理事 28 名、教職員理事 9 名（TOEIC 講習補佐を含む）、正会員監事 1 名、教職員監事 1 名が承認されました。

続いて事業計画と予算の審議に入り、国家試験対策支援のスケジュール、TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援など平成 28 年度の事業計画について各担当教職員理事より説明がありました。引き続き、国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は約 300 万円、課外活動援助は 70 万円とするなど昨年度とほぼ同等の予算案が提案され、事業計画と合わせて承認されました。

総会終了後、希望者を対象に杉谷キャンパス内の施設見学会を実施しました。

5-1. 平成 28 年度事業報告(続き)

学生後援会は、薬剤師国家試験対策や TOEIC 対策, 卒業論文発表会を支援しております。

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

薬学部 6 年制導入後の第 6 期生が 2016 年度に最終学年を迎え, 2017 年 2 月 25 日及び 26 日に新卒者 57 名 (および既卒者 14 名) が薬剤師国家試験を受験しました。先日, 3 月 28 日に合格発表があり, 以下は合格者数の速報値です (前々回全国合格率: 63.17 %, 前回全国合格率: 76.85 %, 今回全国合格率: 71.58%、詳細は略)。

2016 年度に学生後援会として, 薬学科 6 年次生向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間 以上新卒57名および既卒3名の計60名が受講。

費用 (詳細は略)

学生後援会では新卒者を対象に国家試験対策費用の支援を行っています。平成 28 年度は 895,108 円 (新卒者一人につき約 15,704 円相当) を学生後援会から支援しました。

5-1. 平成 28 年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

A. 報告

1) TOEIC 講習会 (2016 年 11 月 5 日 (土))

- 企画概要: ①創薬科学科学生の就職対策支援として TOEIC 講習会, 学内 IP テストを企画・支援。
 ②薬学科学生も参加可能 (講習会 5000 円の参加費, 学内 IP テストは実費で参加)。
 ③入門&スコアアップコースの 2 クラス制での実施 (今年で 3 年目)。
 ④外部講師に TOEIC 対策の専門講義を依頼 (2 講師, イーオン社, 名古屋)。
 ⑤1 クラス分の講師代と添削費を薬学部長裁量経費で対応 (継続)。

実施状況: 参加 46 名 (申込 47 名, 欠席 1 名)。(参考) 昨年 35 名。

詳細: 申し込み人数 (欠席者数)

(1) 入門コース: 31 名 (欠 1)	創薬科学科 3 年	25 名 (欠 1)	4 年	5 名 (欠 0)
	薬学科 3 年	1 名 (欠 0)	4 年	0 名
(2) スコアアップ: 16 名 (欠 0)	創薬科学科 3 年	3 名 (欠 0)	4 年	11 名 (欠 0)
	薬学科 3 年	1 名	4 年	0 名
	大学院生 (旧創薬)	1 名 (欠 0)		

対象別	支援対象 (創薬科学科)	45 名 (欠 1)	*含旧創薬大学院生 (テキスト持参)
	支援外 (薬学科)	2 名 (欠 0)	

経費:

① 1 名分の講師代 + (2 クラス分の教材費 + 事後学習のメール添削費) : 学生後援会で負担

		単価	計
講師 (1 名)	5 時間	¥21,600	¥108,000
教材費 (テキスト)	35 名	¥2,050	¥71,750
教材費 (配付資料)	46 名	¥1,030	¥47,380
添削費 (入門クラス)	30 名	¥820	¥24,600
交通費 (バス:名古屋~富山)	2 回	¥4,630	¥9,260
		小計	¥260,990
合計 (含振り込み手数料: ¥864)			¥261,854

注 1: 前年度は ¥198,204

注 2: 教材費のうちテキスト分は前回での欠席者のものも利用し, 今回 35 部のみ購入。

注 3: スコアアップ・クラスの講師代と交通費と添削費は薬学部 (学部長裁量経費) で負担。

(学部負担額: ¥130,380) (前年度は ¥124,640)。

② 参加費による収入: 5000 円 × 支援外参加者: 薬学科学生 2 名 計: **¥10,000** (収入)

③ ホテル代 1 名分 (講師事情により今回は 1 名分のみ) を後援会で負担:

¥6,800 × 1 名 = ¥6,800, 振り込み手数料 ¥648, 計: **¥7,448**

【講習会についての学生からの評価】 *途中退出者を除く

① 入門コース (回答数 30)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

	人数	0	0	0	9	21
レッスンに満足?	%	0%	0%	0%	30%	70%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	0	12	18
	%	0%	0%	0%	40%	60%
教師に満足?	人数	0	0	1	7	22
	%	0%	0%	3%	23%	73%

(主に肯定意見) ○音読の説明が丁寧で分かりやすかったです。○良かったです。○分かりやすくて良かったです。○楽しかったです。○音読を何度も繰り返すことや音法に注意することで、自分が聞き取れない理由が少し理解できました。○久しぶりに英語に触れる機会があり良かったです。教材を貰ったので毎日頑張ってみようと思います。○クイズなど堅苦しくなく英語に触れる時間があった良かったです。大切なところを大切だときちんと伝えてくださり、説明してもらえたので理解しやすかったです。○今まで TOEIC 対策はどこから手を付ければいいのかと困っていましたが、今回のセミナーを受けて、どこをどう勉強すればよいか分かった気がします。

○音読やリスニングをすることで、音で英語に触れる事が大切だと感じました。○継続的に頑張りたいと思います。○音読を繰り返すことで英文が読みやすくなり、又、早く読めるようになったので良かったです。○セミナーで教えてもらった内容と帰国子女の友人から聞いていた英語学習方法が合致していました。又、自身の体験からも思うように、毎日英語を聞く事は効果があるなと感じました。○休憩時間が適度に取られていたので苦痛は無かったです。○お昼の後はリスニングより音読やゲームの方が眠くならなくてよかったです。○声聞き取りやすく、話す速度もちょうど良かったです。音読は眠くならないので良いと思います。

(肯定/課題あい半ば) △TOEIC の進め方は分かったが、解く問題数が少ないので時間管理の練習にはなりにくいと思いました。セミナーの時間が限られているので、やむを得ないとも思います。

(主に課題の指摘) ■TOEIC 対策を始める為には、どのような教材だと始めやすいか教えてほしいです。 ■もう少し多くの問題に触れることができれば良いなと思いました。 ■CD の音読が速く最初ついていけなかったので、少し遅めの速度もあつたら嬉しいと思いました。 ■セミナーで解いたリスニング問題がどのような会話内容だったか書いた紙を配ってほしいです。 ■お昼休憩の時間

がもう少し欲しかったです。セミナーの時間がもう少し早いと良かったです。 ■お昼ご飯後が眠くてリスニングに集中できなかったです。 ■高校受験以降ほとんど英語に触れる機会がなかった為、CD の音読に全くついて行けなかったです。 ■もう少しゆっくりとしたペースで始めたかったと思いました。 ■効率的な TOEIC 自宅学習法を詳しく教えてほしいです。リスニングは聞き流すだけでも力が付きますか? ■リスニング問題の内容を書いた紙があれば嬉しいです。どこが聞き取れなかったかが分かりやすいので。

② スコアアップコース (回答数 16)

強く否定 否定 どちらとも 肯定 強く肯定

レッスンに満足?	人数	0	0	0	2	14
	%	0%	0%	0%	13%	88%
レッスンの内容は理解できた?	人数	0	0	0	2	14
	%	0%	0%	0%	13%	88%
教師に満足?	人数	0	0	0	1	15
	%	0%	0%	4%	6%	94%

(主に肯定的意見) ○最近 TOEIC や英語の勉強をする機会がなかったので今回勉強できて良かったです。これからも続けていければ良いなと思います。○講師の人間味が素晴らしかったです。○前期も開講してほしいです。○音読を続けてみます。○音読をすることで英語の聞き取りやすさの違いを実感できました。○メリハリがあって楽しいセミナーでした。○今回のセミナーを機に毎日 10 分英語学習をしてみようと思います。講師の吉野さんがクラス全員の名前を一瞬で覚えていてプロだなと思いました。楽しかったです。○今後も音読を頑張りたいと思います。○去年に引

き続き今年 2 回目のセミナーでしたが、やはり 2 回とも受けてよかったですと感じました。これからも毎日こつこつ英語学習を続けていきたいと思います。○1 度 TOEIC 試験を受けてみたいと思いました。学習時間は短くなりそうですが、今後も音読等の英語学習を続けていきたいと思います。○研修内容がとても実践的で良かったです。質問にも快く答えてくださいました。○アルクはすごいと感じました。○6 時間前後のセミナーでしたが全く長く感じず、楽しく受講することができました。講師の方にプロの品格を感じました。

2) TOEIC IP テスト (2017 年 1 月 7 日 (土) 実施)

参加人数: 26 名 (創薬科学科 3 年: 10 名, 4 年: 16 名)

後援会経費支援: 21 名 (創薬科学科 3 年: 10 名, 4 年: 11 名)。(昨年度 17 名, 前々年度 30 名)

支援経費: 受験料 ¥3,395 × 21 名 = ¥71,295, 振り込み手数料 ¥864, 合計: **¥72,159**

IP テストの成績:

	①受検者 (薬学部全体)		②講習会受講者	
	人数	平均	人数	平均
受検結果	26 名	481.2 点	17 名	495.0 点

要点(1) 500 点を越えられない層がある。(講習会から IP テストまでの学習が不十分なケースも)。

要点(2) 受講者であっても、今回、200 点台 1 名, 300 点台 1 名。入学生の多様化が反映?

要点(3) 受検数は増: 20 → 26 名。平均点は下降: 前年度: 502.9 点, 前々年度: 539.0 点。

(参考) 過去の講習会受講者平均: 前年度: 506.7 点, 前々年度: 532.6 点。

3) TOEIC の最高点 (就職前) の調査 (薬・創薬・大学院を問わず就職予定の学生を対象に)

H28 年度回答者: 25 名, うち受検経験者: 13 名 + 前年度: 40 名, うち受検経験者: 20 名

受検経験者の得点 (IP テストを含む):

	①受検経験者 (学部全体)		②3 回以上受検		③講習会経験		④学習法の指摘あり	
	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均
受検結果	33 名	606.3	16 名	654.4	18 名	612.8	15 名	685.0

要点(1) IP テストだけで止まっている層がある。受検回数が多いと点数は up。

要点(2) 自分の学習法が掴めると点数は up。最多の指摘は『TOEIC 公式問題集』。講習会も有効。

B. まとめと対策

- 1) まとめ①: 講習会参加人数は回復。平均点も想定内 (やや下降)。
- 2) まとめ②: TOEIC の積極受検, 事後・継続学習に課題。
- 3) 対策: H29 は反省点・学習法を含めフィードバックを徹底化。H30 は 2 年次に講習会を前倒し。

5-1. 平成 28 年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

平成 29 年 2 月 17 日 (金) に、平成 28 年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は 1 年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習 (事前学習) および共用試験の中断を除く約 8 ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表し討論しました。例年通り活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生 (3 年次生を含む) による投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に 1 名、卒業論文優秀発表賞に 5 名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に 6 名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞 (薬学科生は賞状のみ) を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

5-1. 平成 28 年度事業報告(続き)

5-1-5. 課外活動に対する補助金

平成 28 年度の標記補助の金額を以下のように決定し、支給しました（詳細は略）。

5-1-6. 奨学資金援助

平成 28 年度における奨学資金貸与はありません。これまでに貸与した方は 22 名であり、貸与中の状況は、以下の通りです（詳細は略）。

5-1-7. 広報

薬学部学生後援会のホームページを作製し、情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。平成 28 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-1-8. 保護者懇談会

大学（杉谷キャンパス）祭開催期間に合わせ、平成 28 年 10 月 22 日（土）の午後 1 時半より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。96 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。細谷学部長から薬学部の現状と就職状況についてのお話がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。皆様から予め寄せられた質問への回答の他、会場からの質問にもお答えいたしました。最後にニュージーランド短期海外語学研修について紹介し閉会といたしました。

希望する保護者の方に対し学内見学会も実施いたしました。

5-1-9. 入会状況

平成 28 年度の新規加入者は 107 名（新入生薬学科 46 名，新入生創薬科学科 45 名，在學生薬学科 10 名，在學生創薬科学科 6 名）でした（H27. 12. 1～H28. 11. 30）。その後も，在學生薬学科 4 名，在學生創薬科学科 2 名の入会を受け付けました（H29. 3. 15 現在）。未入会の方には，研究室配属や保護者懇談会・総会案内状送付などの機会に本会の趣旨をお伝えしつつ入会をお願いしております。

以上の平成 28 年度事業について、各担当理事から報告が行われた。

5-2. 平成 28 年度会計報告

以下、本会計および緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算および監査の報告があった。

平成 28 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 平成 28 年 3 月 1 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日)

収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告(財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告(積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

平成 29 年度役員の選出

役員名簿

正会員理事

会 長：坂井 明広 (薬学科)
他、副会長 1 名、監事 1 名、理事 24 名

学内理事

副会長： 細谷 健一 (薬学部長)
庶 務： 恒枝 宏史 (病態制御薬理学)
入会・人事： 安東 嗣修 (応用薬理学)

課外教育

国家試験： 辻 泰弘 (医療薬学)
TOEIC 講習： 杉森 保 (化学)
TOEIC 講習補佐： 名執 基樹 (独語)
課外活動・奨学資金： 水口 峰之 (構造生物学)
会 計： 友廣 岳則 (生体認識化学)
広 報： 池田 恵介 (生体界面化学)
監 事 (教職員会員)： 池田 恵介 (生体界面化学)

会長、副会長および学内外の新理事が承認された。

5-4.平成 29 年度事業予定

5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援, 薬学科 6 年生対象）

平成 29 年度は、新カリキュラム導入後の第 7 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

・平成 29 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
・	5 月末頃	スタートアップ模試（薬学ゼミナール）
・	7 月末頃	ステップアップ模試（薬学ゼミナール）
・	9 月頃	全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール）
・	11 月頃	予備校によるガイダンス
・	11～12 月頃	予備校による講習会
・	12 月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール）
・平成 30 年	1 月頃	模擬試験（薬学ゼミナール以外）
・	2 月上旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール）
・	2 月下旬頃	第 103 回薬剤師国家試験

平成28年度の第102回国家試験は、全体的な難易度としては過去数年と比較して標準的なレベルであり、本学新卒者の合格率は91.23%と好成績をあげることが出来ました。102回国家試験における出題傾向として、図表・グラフを読み解くなど考える力や応用力を必要とする問題、薬理と病態・薬物治療の科目間を横断する複合的な問題や、「がん」、「感染症」など代表的疾患に関する理解を問う問題が多く出題されたことが挙げられます。即ち、難易度の高い問題や新たな傾向の問題も相当数、出題されたと言えます。

いずれも付け焼き刃では対応が難しいことから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導致します。

平成29年度の国家試験対策は、従来よりスケジュールを早めて好成績を得た過去3年間の対策を踏襲するとともに、学生へのアンケートで得られた反省点などを踏まえ、より充実した対策が行えるよう努めます。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4.平成 29 年度事業予定(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援, 創薬科学科対象)

平成 29 年度では, 以下の形で TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援を行いたいと考えています。

A. 概要

これまでの以下の枠組みを踏襲

1. 創薬科学科の学生が支援対象 (講習受講費と 1 回分の教科書代, キャンパステスト 1 回分の支援)。それ以外の薬系学生 (3 年次以降の学部学生, 大学院生) が講習会に参加を希望する場合には, 参加費として 5000 円を求める (教科書代込み) (キャンパステストは自己負担での参加が可能)。
2. 創薬科学科 3 年生以降でも講習会受講を後援会が支援する (創薬科学科については受講料を免除。繰り返し受講を含む。ただし, 2 度目の場合は, 教科書代は個人負担となる)。
3. キャンパステストは事情により受験できないケースも考え, 創薬科学科 3 年次ないし 4 年次いずれかにおいて受験する分を支援するものとする (いずれも 1 月実施の試験 1 回分が対象)。
4. オリエンテーション等で, 3 年次からの英語学習の意義と後援会の TOEIC 支援活動について説明し, 英語学習意識の浸透をはかる。

B. 留意点 (★印は特に今年度に留意して取り組むもの)

1. TOEIC 講習会

- ・ 2 クラス体制で実施。

(1) 入門コース: リスニングを中心に TOEIC500 点台を目指す学習法を学ぶ。

(2) スコアアップコース: リーディング対策なども加え, TOEIC700 点台を目指す学習法を学ぶ。

- ・ 1 クラス分の講師代の学部からの支援を依頼 (学部長裁量経費等)。

2. IP テスト

- ・ 講習会 2 ヶ月後の IP テストの創薬科学科学生の受検経費 (1 回分) を支援。

3. その他

★フィードバックの徹底化: 4 月の学年別オリエンテーション, 告知時に意識喚起, TOEIC 講習会時に講師に依頼。

*特に 過去の成績の推移, アンケート結果から分かる学習法・注意点。

★2 年次学生に対しても 4 月の学年別オリエンテーションで, TOEIC 対策を学生生活に組み込むよう指導。特に, 以下の自己学習環境について説明:

- ・ 大学 WEB 上の「TOEIC 演習 2000」の利用。
- ・ CALL 教室の対策ライブラリの活用, など。
- ・ 自己学習環境の充実化: CALL 教室, 図書館の対策図書を充実化させる。
- ・ 最終的な獲得点数と学習法についてのアンケートを継続して実施。

5-4.平成 29 年度事業予定(続き)

5-4-3. 課外活動援助

例年通り，各課外活動団体からの申請があれば，薬学部学生の所属数に基づき，既定の範囲内で援助を行う。

5-4-4. 奨学資金援助

未返還者への督促を行うとともに，貸与希望者に返還計画の遵守を徹底する。

5-4-5. 広報活動

薬学部ホームページを用いて，後援会活動の報告等を活発に行う。

富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-4-6. 保護者懇談会の開催

平成 29 年 10 月 21 日（土）（杉谷（医薬系）キャンパス祭開催時）に開催予定。多数の保護者の方の参加をお待ちしております。

以上，平成 29 年度事業計画が説明され，原案の通り承認された。

5-5. 平成 29 年度予算

表 4-1. 学生後援会本会計予算

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振替口座会計予算

<略>

表 5. 緊急対策会計予算(積立の部)

<略>

表 6. 奨学資金会計予算

<略>

以上、平成 29 年度予算案が原案の通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生, 大学院生の研究活動

学会での受賞等 (薬学部同窓会誌「遠久朶」第94号(2017.2)より抜粋, 学年はH28年度)

- ・優秀発表賞 (日本薬学会第136年会 2016年3月)
田村 貴史 (薬学科4年; 分子合成化学研究室)
- ・第11回学生ベスト発表賞 (日本生化学会北陸支部 第34回大会 2016年5月)
岡元 拓海 (博士前期課程2年; 分子細胞機能学研究室)
- ・学生賞 (日本膜学会第38年会 2016年5月)
高岡 里奈 (薬学科6年; 生体界面化学研究室)
- ・女性賞 (国際ソロプチミスト富山 2016年7月)
坂口 育美 (博士後期課程2年; 薬化学研究室)
- ・ポスター賞 (第67コロイドおよび界面化学討論会 2016年9月)
中尾 裕之 (特別研究学生博士後期課程3年; 生体界面化学研究室)
- ・ポスター発表最優秀賞 (第10回韓国資源植物学会秋季学術大会 2016年9月)
禹 昭年 (博士後期課程2年; 天然物化学研究室)
- ・優秀発表賞 (第38回日本生物学的精神医学会, 第59回日本神経化学会大会合同年会 2016年9月)
金田真理彩 (博士前期課程1年; 分子神経生物学研究室)
- ・優秀発表賞 (口頭) (平成28年度有機合成化学北陸セミナー 2016年10月)
野田 成美 (博士後期課程3年; 分子合成化学研究室)
- ・優秀ポスター賞 (平成28年度有機合成化学北陸セミナー 2016年10月)
三浦 優佳 (博士前期課程1年; 薬品製造学研究室)
- ・ポスター賞 (超分子による革新的マテリアル開発の拠点形成 第2回国際シンポジウム 2016年10月)
林 滉一朗 (博士後期課程2年; 薬化学研究室)
- ・2nd Place Oral Presentation Award (The 6th Symposium on Bioactivities and Disease Prevention of Phytochemicals and Natural Products for Health 2016年11月)
Zinsou Donald (博士後期課程2年; 消化管生理学分野)
- ・Outstanding Poster Award (22th Kyung Hee East-West Pharmaceutical Research Institute Symposium 2016年11月)
臼井 拓也 (博士後期課程3年; 薬剤学研究室)
- ・優秀発表賞 (第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 2016年11月)
大野 智恵 (博士前期課程2年; 薬物生理学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 第128回例会 2016年11月)
間越 祐貴 (博士前期課程1年; 応用薬理学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 第128回例会 2016年11月)
井上 貴斗 (博士前期課程1年; 薬物生理学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 第128回例会 2016年11月)
有賀 優也 (薬学科6年; 生体界面化学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 第128回例会 2016年11月)
金田 真理彩 (博士前期課程1年; 分子神経生物学研究室)
- ・学生優秀発表賞 (日本薬学会北陸支部 第128回例会 2016年11月)
三浦 優佳 (博士前期課程1年; 薬品製造学研究室)

- ・若手研究奨励賞（第 28 回分子糖尿病学シンポジウム 2016 年 12 月）
小野木康弘（博士後期課程 3 年；病態制御薬理学研究室）

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、平成 26 年度入学生から 2 年次以降の毎年 5 月に学生の保証人（親権者等）へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じます。

平成 25 年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込み願います。お申し込みに関しましては、毎年 9 月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。